



説教	人の子は三日目に復活する	…… 澤谷由美子 …… 1
教会の課題	公同の教会の交わり	…… 富永 憲司 …… 2
新約聖書学への招待	ルカ2章49節の新しい訳 第4回	…… 住谷 真 …… 3
■	旧日本基督教会の草創期—植村正久を中心に(4)	
	神の創造を告白据えるという重さ	…… 崔 炳一 …… 4
目次	教会、この地とともに② 池田教会	
	主と共に生きる教会へ	…… 岡田 宏明 …… 5
	6人の牧師による座談会②	…… 編集部 …… 6
	こいのにあ 散らされている小さな群れの交わり	
■		…… 青木 豊 …… 7
	現代日本の道德教育の現状と子どもたちの心を見つめて	…… 澤谷由美子 …… 7
	今、日本で子どもに旧約聖書を語る	…… 奥野百合子 …… 8
	教会ニュース	…… 8



## 人の子は三日目に復活する

そして、人の子は三日目に復活する。(マタイによる福音書20章19節b)

さわ や ゆ み こ  
澤 谷 由美子

主イエスは十二弟子や他の人々を引き連れてエルサレムを目指す旅の最後に差し掛かりました。もうすぐ別れなければならない弟子たちに、どうしても言い残すべきことがありました。「人の子は、祭司長たちや律法学者たちに引き渡される。彼らは死刑を宣告して、異邦人に引き渡す。人の子を侮辱し、鞭打ち、十字架につけるためである。そして、人の子は三日目に復活する」(20:18-19)。これは三回目の受難予告でした。弟子たちは、既に二回の予告(16:21, 17:22-23)を聞いていました。一回目の時にはペトロが「そんなことがあってはなりません」(16:22)と言って主を諫めて叱られたのでした。二回目の時も弟子たちには理解できず、非常に悲しんだのでした。

三度目の受難予告においては最も具体的な十字架刑という死刑が告げられました。しかも、主ご自身を示す「人の子」が三回も使われています。しかし、それを聞いた弟子たちの反応が一言も記されていないのは不思議です。また、その後の展開がさらに不思議です。ゼバダイの子らの母が登場して、我が子のヤコブとヨハネを主の王国の王座の左右につかせてくれと願うのです。母親までも巻き込んで、彼らは他の弟子たちよりも高いこの世のポジションを狙っているのです。それを聞いた他の10人は憤慨しました。結局みんな同じ穴のムジナで、主の新しい王国のポジション争いをしていたのでした。

弟子たちは三回も語られた主の受難予告の何を聞き取っていたのでしょうか。この後主は弟子たちに、弟子の道の奥義を教えられます。「偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、皆の僕に

なりなさい」(26、27節)。それは、主ご自身が私たちに お仕えになるために、多くの人の身代金として十字架にお自分の命を献げようとしておられたからです。弟子たちは主の最も身近にいて受難予告を肉声で三度も聞いていたのに、正しく聞き取れなかったのです。

しかし、私たちが聞き逃していないでしょうか。主は三回の予告の中で、初めから一つのことをはっきり告げておられました。「三日目に復活することになっている」(16:21)。「殺されるが、三日目に復活する」(17:23)。そして、「人の子は三日目に復活する」(20:19)です。主は首尾一貫して、「三日目に復活する」と断言されていました。

死を恐れ、苦難を恐れ、仕えることが嫌いな私たちは、たやすく落胆し、信仰が揺らぎ、弟子の生き方を愚かだと考えます。「やってもだめだ」、「希望がない」、「教会は衰退してしまう」。そうでしょうか？主は「三日目に復活する」と繰り返し言われました。

弟子たちが分からなくても言われました。そして復活なさいました。さらに、信仰の弱い私たちのために、ご自分の肉と血のしるしとしてパンと葡萄酒をいただくようにと聖餐式を定めてくださいました。疑い深い私たちにも、わからずやの私たちにも、繰り返し何度も「人の子は復活した」と告げておられます。復活の主イエスが、身代金として献げてくださった肉と血を生身の体で味わう時に、私たちの内に「主イエスの命」が聖霊によって注がれます。そして復活の主は再び来られます。これ以上の希望はどこにあるのでしょうか。(湘南教会牧師)